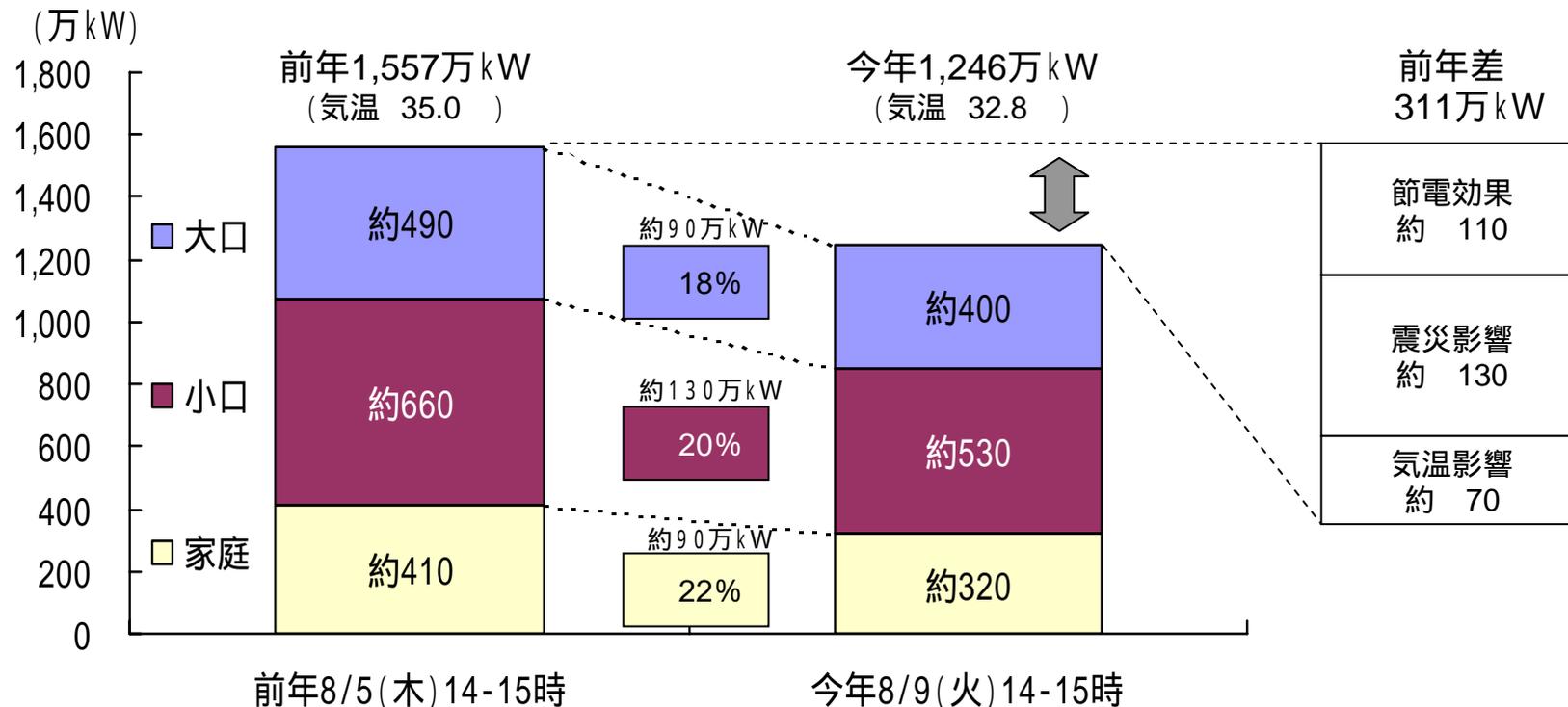


最大電力発生日の比較(需要家別内訳・節電効果等の試算)

- 今夏の最大電力は、震災の影響に加え、節電にご協力いただいたことや気温影響などから、前年に比べ大幅に減少(全体で 311万kW、対前年比 20%)。
- 需要家別では大口、小口、家庭ともに20%程度の減少がみられたものと試算。
 - 大口(18%)、小口(20%)、家庭(22%)
- 減少要因を節電効果約110万kW、震災影響約130万kW、気温影響約70万kWと試算。



(注1) 大口は契約電力500kW以上の大規模工場、商業施設などのお客さま。小口は契約電力500kW未満の高圧受電の工場、事務所・ビルなどのお客さまおよび小規模商店、事務所などのお客さま。家庭は一般住宅などのお客さま。

(注2) 大口は、収集した毎時間実績データを集計して推計。実績値を収集していない小口(高圧)は、大口データを参考に契約電力、販売電力量実績などから推計。

(注3) 気温は東北7県の県庁所在地7都市の最高気温の平均値。